

1. 件名：東海再処理施設の廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和3年8月20日(金)10時00分～11時45分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

原子力規制企画課 火災対策室

北嶋室長補佐、山下係長

審査グループ 研究炉等審査部門

細野安全管理調査官、北條主任技術研究調査官、小舞管理官補佐

加藤原子力規制専門員

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部 安全・核セキュリティ推進室 マネージャー 他1名

再処理廃止措置技術開発センター 廃止措置推進室長 他5名

#### 5. 要旨

○国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、東海再処理施設の廃止措置に係る検討状況について、配付資料に基づき説明があった。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

（資料1について）

- ・追加で設置するとしている火災感知設備について、既設の火災感知設備に係る火災受信機とは別に、新たにR型火災受信機を設置するとしているが、既設の火災受信機と消火設備が連動している場合、運用上支障が生じるおそれがあることから、既設の火災受信機と消火設備の関連について確認し、運用上の支障の有無について説明すること。
- ・火災防護に係る代替策において用いる可搬型照明設備については、仕様及びバッテリーの容量を示すこと。
- ・重要な安全機能に係るケーブルの片系統を収納する電線管について、端部を耐火シール材により閉止するとしているが、電線管だけでなく耐火シールについても1時間の耐火性能を有することを説明すること。
- ・電線管が1時間火災に曝された際の熱的影響に対して、内部に収納するケーブルが機能を喪失しないことについて、試験等による確認を検討すること。

○原子力機構より、了承した旨返答があった。

#### 6. 配付資料

資料1 高放射性廃液貯蔵場（HAW）及びガラス固化技術開発施設（TVF）ガラス固化技術開発棟の火災防護対策の検討状況について